

## 魚津市定例記者会見 4月

日時：平成27年4月1日（水） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、  
富山テレビ放送、NICE TV、新川コミュニティ放送

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長  
企画政策課長

### 1. 市長からの説明事項

#### (1) 新年度スタート

平成29年春頃に魚津市で開催する全国植樹祭に向けた準備を本格的にスタートするため、本日、農林水産課内に全国植樹祭推進室を開設した。本市としては準備に遅れが出ないように、県よりも早めに準備に着手した次第である。職員体制も、新川森林組合から中堅職員を1名派遣してもらい、関係機関との連携・連絡にあたる。

植樹祭会場になる桃山運動公園は、平地よりも積雪量が多くなることから現地での作業は春から秋に限定される。したがって、開催まで実質2年もあるということだけでなく、諸準備怠りなく進めてまいりたい。

#### (2) 北陸新幹線開業に合わせスタートした「おもてなし魚津直行便」利用状況

本市における北陸新幹線開業効果は、まだデータでお示しできる段階にはないものの、開業と同時にスタートした乗合タクシー「おもてなし魚津直行便」はビジネス需要を中心に利用されている。

運行主体である魚津タクシー協会によると、想定よりも好調な出足ということである。また、京都大学のご協力をいただきインターネットからの予約もできるようになった。この仕組みが浸透すればさらに利用客も増えるのではないかと期待している。市内のホテルでは乗合タクシーを宿泊プランに取り入れている施設もあり、今後はビジネスだけでなく観光客にもご利用いただきたいと思っている。

#### (3) 第35回しんきろうマラソン

4月26日に開催される毎年恒例のしんきろうマラソンの申込者数は、3月31日現在で5,800名を上回っている。過去最高だった平成24年の5,884名に迫る勢いで、これは、招待選手の影響もさることながら健康づくりへの関心が高まっていることの表れと受け止めている。

## 2. 質疑応答での市からの説明内容

### 「予約式乗合タクシー おもてなし魚津直行便について」

#### 《記者からの質問》

乗合タクシーの利用実績はどうなっているか。

#### 《回答》

開業日以降3月中の累計実績は、魚津市内から黒部宇奈月温泉駅への利用が72名（運行台数35台）、黒部宇奈月温泉駅から魚津市内へは141名（71台）であった。1日あたり平均利用者数は13.3人、1台あたり平均2名乗車となっている。また、今後4月下旬までに20件40人の予約が既に入っている。

電話予約（フリーダイヤル）のほかに、インターネットからの予約もできるようになり、こちらはこれまでに5件の利用があった。魚津市観光協会のホームページからとても簡単に予約できるので、これから利用者が増えることを期待している。

#### 《記者からの質問》

新幹線開業後の観光客の入り具合などはどのような感触か。

#### 《回答》

乗合タクシー利用者から読みとれるのは、主な利用者はビジネス客だということだが、富山地方鉄道の利用者が増えているような話も聞いている。日ごろから電車を利用する習慣の人たちは（黒部宇奈月温泉駅～魚津市の移動に）地鉄を利用しているのだろうと思われるが具体的なデータはなく、観光客数への影響はまだ把握できていない。

市内のホテル宿泊者数は開業前後であまり変わっていない。開業前はホテル利用者の約6割がビジネス客とみられていた。開業後、ビジネス客と観光客の割合が変化しているかどうかはまだ分かっていない。

#### 《記者からの質問》

在来線の特急電車がなくなったことで、駅周辺の飲食店などで影響が出ていないか。新幹線開業効果でのプラスと、これまでの特急列車利用客がいなくなったことによるマイナスはどのような状況か。

#### 《回答》

まだはっきりとした情報がなく、今後飲食店組合などを通じて状況を把握したい。黒部宇奈月温泉駅での乗降客がどのような交通手段で魚津へ移動するかに関しては、乗合タクシーや電車の他にマイカー送迎もあることから、数字で把握できる以上に多くの方が魚津へ来ておられるものと思われる。

### 「あいの風とやま鉄道の列車運行について」

#### 《質問》

朝夕の混雑などで市民から不満の声は出ていないか。

《回答》

利用者の皆さんはこれまで通勤・通学ラッシュという経験がほとんどないものと思われる。開業当初の混雑が今後緩和されなければ大変なことなので、あいの風とやま鉄道さんも対応を真剣に考えておられるのではないかと。

《質問》

大阪から魚津への移動では、最終のサンダーバードを利用する場合、富山駅での待ち合わせ時間がこれまでより44分も長くなり48分間になった。不便になったという声はないか。

《回答》

このケースでは在来線特急、新幹線、あいの風と乗り継ぐことによってどこかで不便が生じている。特に大阪方面は朝のダイヤも含めこれまでより不便になっているので、利便性の向上を今後も継続して要望していく。

「全国植樹祭について」

《質問》

推進室で行う業務内容と室長の意気込みをお聞かせ願いたい。

《回答》

29年春頃の開催に向け、県と十分に連携し市民の皆さんに喜んでもらえる主会場の準備を滞りなく進めていきたい。

植樹会場を確保し整備しなければならず、現在は山林の場所を刈り払って植樹に適したように整備しなければならない。また主会場となる桃山運動公園では、約6,000人と見込まれる来場者に対応するための設備が必要になってくる。

県東部での広域開催ということで、滑川以東の3市2町のエリアでの宿泊対応、また、自治体ごとに植樹会場を設けたいという構想もある。